



読めるだけでいいのです！

明けましておめでとうございます。今年も千葉は穏やかな天気のお正月でした。恒例の1月2日の正月特訓に参加した中3のみなさん、どうもお疲れさまでした。まだまだラストスパートをかける力は残っているはず。時間を有効に使っていきましょう。

さて、正月特訓の時にはパワーポイントのスライド画面も交えて授業をしますが、今年は「新常用漢字」についての問題も加えてみました。2010年に常用漢字表が久しぶりに改定されて196字が追加となり、これを新常用漢字表と呼んでいます。ここ最近は新たに加わった漢字が公立高校入試にも出るようになり、去年は「進捗」「挨拶」という漢字の読みが出題されています。物語や小説などを読んでいなくても、普段から新聞などの文章に触れていれば読めるはず。しかし正月特訓で出した中では払拭・氾濫・肥沃などを読めない人が多くいました。「不安を払拭する」「河川が氾濫する」「肥沃な土地を耕す」など聞き慣れていれば読めますね。中学の定期テストでは読めるだけでいい漢字を書かせたりすることがありますが、これらの漢字は高校入試においては書ける必要はありません。書き取り問題は小学校6年生までに習う「教育漢字」からしか出ません。ただし、念のため小学生のみなさんに言っておくと、今学習している漢字はすべて読めて書ける必要のある漢字です。これから一生使っていく漢字だと思ってください。

ここで説明した漢字の例だけでなく、一度に何でも「覚えなきゃ」と思いこむことはありません。英語でも文の主語・動詞としてよく使われる重要な単語はスペルも書ける必要がありますが、意味さえ分かればいい単語もあります。理科や社会の用語では全体像を把握してから細かいことを覚えていけばよいのです。言葉だけ知っていても相互の関係がわかっていなければ、結局役に立ちません。優先順位をつけて、段階ごとにマスターしていきましょう。学習する内容を絞っていけば気持ちも楽になります。そこを踏まえて受験生はもうひと頑張り。応援しています！